

## 第2回 総社市復興ビジョン委員会 議事要旨

○日 時：平成30年12月14日（金）13:30～

○会 場：総社市図書館 3階多目的室

○出席者：

総社市：片岡市長，田中副市長，中島政策監，野村部長

委 員：浅沼委員，小西委員，平松委員，清水委員，吉澤委員，風早委員，  
高橋委員，後藤委員，松本委員（代理出席），佐野委員

### 1. 開会

片岡市長挨拶

- ・12/25までに復興ビジョンをまとめる予定であり，これが復興計画の骨子となる。復興計画では何年間でどのくらいお金をかけて，何をしていくのかを決めていく。
- ・①強くてしなやかなまちづくり，②人口・経済の上昇，③下原地区・昭和地区の復興が3本柱である。防災機能を備えた新たなまちづくりをしていきたい。

### 2. 議事

#### 2-1. 復興ビジョン・復興計画について

（事務局より復興ビジョン案の説明）

（市長）復興ビジョンは，5年計画である復興計画の基本方針を掲げるものであり，分かりやすさと力強さが必要である。アクセントを付けるべき部分や，足りない部分がないか等を議論して頂きたい。排水ポンプの設置については盛り込んでいないが，多額の費用が必要な事業となるため，復興とは別で進めていく方針である。

#### 2-2. 委員との意見交換

##### （1）昭和地区復興委員会代表 浅沼委員

- ・工程と進捗が見えるようにして頂きたい。安心感がないといけない。
- ・復旧から復興に変わりつつある中で，進捗が早い人と遅い人の差があり，精神的にもつらいと思う。意見を汲み上げていく取り組みは継続的にしてほしい。
- ・障がい者がいる家族は避難所に行きづらい。そうした点にも配慮した避難所の設置をして頂けるとありがたい。

（市）3月に策定する復興計画では，出来るだけ細かい内容を示したい。

（市）長期化するケアの中で，被災者に寄り添う支援をしていきたい。

（市）障がい者の避難についても多くの意見があり，見直しを行っていく。

##### （2）下原地区復興委員会代表者 小西委員

- ・下原地区は，若い人が帰ってくるには道が狭い。セットバックによって拡幅したいが，石垣や塀を自費で復旧するのは難しいので，方策を検討して頂きたい。
- ・集落営農組織を立ち上げて伊與部米の販売をしているが，もっとPRをしたい。協力をお願いしたい。

(市) 道路が狭いことは、重要な課題と捉えている。相談をさせて頂きたい。

(市) 農業振興について、今後も一致団結して取組んでほしい。市も協力していく。

(3) 総社市コミュニティ地域づくり協議会会長 平松委員

- ・新本川は氾濫の危険があり、給食センターの辺りが最も危ないので、堤防整備や伐木等を検討してほしい。
- ・総社市は自由枠交付金を受けており、地域によって色々な用途に使えるが、防犯・防災にかけている費用が少ないのではないかと。災害情報を流す放送塔が無い地域もある。
- ・安全性に問題がある避難所について、全体的な見直しをしてほしい。

(市) 予算を考えながら、支川の方も浚渫や伐木をやっていきたい。

(市) 自由枠交付金は、具体的な計画を立てる中で、配分すべきところを考えたい。

(市) 避難所は重要なテーマであり、ハザードマップや避難所、避難ルートを見直す。

(4) 総社市商工会議所会頭 清水委員

- ・排水ポンプは、必要な時に動かないことが無いよう、しっかりと保守をお願いしたい。
- ・ダムの高上げをして容量を大きくすることが必要ではないか。
- ・ハザードマップの活用は有効であるので、浸透させてほしい。
- ・消防団や警察等にもライフジャケットを配るべきではないか。

(市) ダムコントロールの会議があるので、ダムの管理について働きかけていく。

(市) ハザードマップの内容の見直しや周知徹底、防災意識の啓発に取り組んでいく。

(5) 総社吉備路商工会会長 吉澤委員

- ・ダムの管理によって二次災害が起こることが無いようにして頂きたい。
- ・ハザードマップがあるが、大きな災害の時には使えないものだった。

(市) ダムコントロールの働きかけを行い、放流量や水位等の情報発信をしていきたい。

(市) 避難所については、抜本的見直しをする。

(6) 総社市社会福祉協議会会長 風早委員

- ・経験を活かし、より強い総社を目指したい。今回水害に弱いことが分かったので、ハード対策を徹底した上で、市民力を高めることで復興が進むと思う。
- ・何から事業を進めていくか、優先順位を考える必要がある。出来ることはいち早く始めて、市民に安心感を持ってもらうことが重要である。
- ・市が何もかも出来るわけではないので、市民の自立を助ける姿勢も重要。都市基盤の整備を進めてほしい。

(市) 何を優先すべきか、何が効果的かを考えながら進め、市民の安心感につなげたい。

(市) ハード面では河川整備の要望が強く、国や県と協力して対応したい。

(7) 岡山県立大学学生部長 高橋委員

- ・安心できるまちづくり，魅力的なまちづくりが大きな要素だと思う。
- ・アンケートを見ると，避難指示が出たことはほとんどの市民が知っていたが，避難しなかった人も多い。特別警報の意味や，避難の判断基準を周知する必要がある。
- ・優良企業や店舗の誘致を進め，魅力的なまちづくりに取り組んで頂きたい。  
(市) 多くの人に情報を発信できるよう努めているが，引き続き課題として考えたい。  
(市) 魅力的なまちづくりに取り組み，人口増につなげたい。

(8) 株式会社 LIFULL 地方創生推進部 後藤委員

- ・避難所について，普段から交流の場となるようなソフト面の検討をして頂きたい。
- ・人口増だけでなく，市外の人との交流を促進して，関連人口を増やす施策がほしい。
- ・サテライトオフィスを検討する企業を支援することによって，企業誘致が進むのではないか。移住してきた方で能力を持った主婦のスキルを活用することも考えられる。
- ・農業の人材不足への対策として，体験型の農業振興を取り入れてはどうか。
- ・復興住宅の検討については，長い視点で街並みの変化も考慮して頂きたい。  
(市) 大変具体的な提案を頂いたので，それぞれ検討していきたい。

(9) 総社青年会議所理事長 小坂委員 (代理 松本委員)

- ・避難所について，立地条件や障がい者への対応，プライバシーへの配慮など見直しが必要。また，災害の種類によってどの避難所が対応可能であるか周知して頂きたい。
- ・被災地の復興に向けたPRや産業の創出について，青年会議所も連携していきたい。
- ・5ヶ年の計画に向けては，災害を風化させないための取組みが重要であり，市民全体で意識を持って取組みたい。  
(市) それぞれ重要な内容であり，具体的に検討のうえ計画に反映させたい。

(10) 総社商工会議所青年部会長 佐野委員

- ・市が主導して市全体の防災訓練を行ってはどうか。
- ・大規模災害時に協力して頂ける企業をデータベース化しておく，物資の支援等を受けやすいのではないか。  
(市) 全市的ではないが，防災訓練を実施している。より広く参加して頂けるよう検討する。  
(市) 協力企業のデータベース化について，どういったことが可能か検討したい。

(11) その他の意見

(各委員)

- ・防災センターの備蓄物資について，期限切れがないか等のチェックが必要ではないか。
- ・新本川や高梁川にヌートリアがいて，堤防に巣穴を掘って住んでいる。国や県と協力

して確認してほしい。

(市) しっかり確認させて頂く。

- ・障がい者や高齢者にやさしい避難所を。洋式トイレが無く困っている人がいた。
- ・学校で重要書類が流された事例があるので、2階に保管するようにはどうか。

(市) 復興計画の進捗について検証することが重要であり、PDCAサイクル等で見える形にして皆さんに発信したい。メリハリをつけて進めていく。

### 3. 閉会

田中副市長挨拶

- ・貴重なご意見をありがとうございました。これを踏まえて、12/25にビジョンをまとめる予定です。言い残した意見等があれば、後日でも結構ですのでお寄せ下さい。本日はありがとうございました。